

2014年5月21日

電通と NEC、東京都交通局が協業し、 駅ホーム上でデジタルサイネージによる広告事業を開始

株式会社電通（以下「電通」）と日本電気株式会社（以下「NEC」）、東京都交通局は、駅ホーム上のデジタルサイネージによる広告事業を5月26日から開始いたします。

本事業では、都営大江戸線・六本木駅の上下線ホーム上の柱12本に各2面、計24面の65インチ縦型のデジタルサイネージ（通称「六本木ホームビジョン」）を設置し、NECの「情報・コンテンツ配信クラウドサービス」を活用して、広告を配信してまいります。広告販売、広告配信の運用・管理、コンテンツ制作は電通が担当します。

六本木ホームビジョンのメディアとしての魅力は、乗客が電車待ちをする駅ホーム上に設置されるため、より長い時間の広告接触が見込まれることにあります。加えて、ジェスチャーでの操作を可能にするシステムや音声センサーなどを活用したインタラクティブな広告表現、個人のスマートフォンとデジタルサイネージの連携など、新しいコミュニケーション手法を検討・実験する場としての活用も可能になります。

電通と NEC、東京都交通局は、六本木駅での検証を踏まえた上で、今後の事業展開について検討してまいります。



<六本木ホームビジョンの販売概要>

- ・ 設置駅：都営大江戸線六本木駅 1 番線・2 番線ホーム
- ・ 掲出サイズ・面数：65 インチ・24 面
- ・ 掲出期間：7 日間（月曜日スタート）
- ・ ジャック販売掲出料金：180 万円（税別）
- ・ ロール販売掲出料金：40 万円（税別）（15 秒/3 分ロール）

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
長澤、溪 TEL：03-6216-8041